

# 変賓動詞の“人”の類を表す名詞目的語に対する 影響とその組み合わせの研究

矢嶋美都子（和訳）

## Research on the effect of variable-object-verb with "person" noun-object and its collocation

Mitsuko YAJIMA

要旨 変賓動詞と非変賓動詞の概念について述べ、その上で、122個の“人”の類を表す名詞を目的語とする変賓動詞について考察した。結果、変賓動詞の名詞目的語に対する影響は主に、次の三点、人の内的感情、生活状態、生存状態に表われている、と分かった。変賓動詞は“人”の類を表す名詞目的語との組み合わせの関係に三つの特徴を示している。

キーワード 名賓動詞（名詞を目的語とする動詞）、変賓動詞、  
動詞と目的語の組み合わせ。

胡裕樹氏、範曉氏が1995年に、目的語の語の性質に基づいて動詞を名賓動詞、非名賓動詞、全能動詞の三類に分けた。両氏の分類に基づき、《高等学校外国留学生漢語専業教学大綱》の中の二音節他動詞の目的語を調べて、この中に目的語を名詞或は名詞句とする二音節の名賓動詞の項目は全部で1307個あると分かった。

呂雲生氏の《「礼記」の動詞の語義分類研究》は、2710個の動詞項目を基礎に、動詞の各レベルにおける語義構造を帰納し、動詞の語義系統について

詳細に論述したものだが、これは本稿の動詞と名詞の組み合わせを考察する強力な理論的支持を提供する。

呂雲生氏の分類を基礎に、本稿は名賓動詞の語義の特徴から始めて、それらと名詞目的語の組み合わせの実際状況とを結合し、名賓動詞が名詞目的語の表す人や事物を変えるか否かという点に立脚して、名賓動詞を変賓動詞と非変賓動詞に二分類した。

## 一、変賓動詞と非変賓動詞について

### 1、変賓動詞

変賓動詞とは、動作行為の主体が動作をすることで名詞目的語が表す人や事物に影響が現れる動詞を指す。動詞の名詞目的語に対する影響は多岐にわたり、有形無形に、人にだけ、事物にだけ、具体的な或は抽象的な事物にも及ぶ。変賓動詞は人を表す名詞目的語の心理感情の変化、生活状態の変化、存在状態の変化を発生させる作用があり、事物を表す名詞目的語の事物の量や質に変化を発生させる作用がある。

「頒發」(授ける)の語を例にしてみる。

例1、北京等の地区の7つの企業はオリンピックで金メダルを獲得した7名の選手にそれぞれトロフィーを授与した。

例2、中央軍委員会委員・総政治部主任の于永波は会場に到着して講演し、また王寿と劉国梁に立功証書を授与し軍功章をつけた。

例文の中で、「授与」の目的語の「トロフィー」と「立功証書」は、授与という動作を経た後、それらの位置が変化した、動作発生者「北京等の地区の7つの企業」と「中央軍委員会委員・総政治部主任の于永波」から「7名の選手」、「王寿と劉国梁」の側に移ったのである。次に「消滅」を例に見て

みよう。

例 3、同志たちよ、恨みを晴らす時が来た、我々は勇敢に敵を消滅しに行かねばならない。

例 4、ここで、関係各位に断固たる措置をとれと呼びかけ、害虫を消滅するように、これらの誤字当て字を消滅するのだ。

例文中の「敵」、「害虫」、「誤字当て字」は「消滅」という動作を経た後、その存在状態は「有」から「無」に変わったのである。「授与」や「消滅」と同じように名詞目的語が表す人や事物に変化を起こさせる動詞を、変賓動詞と称する。《大綱》の1307個の二音節の名賓動詞の中に、変賓動詞は1023個ある。

## 2、非変賓動詞

二音節他動詞の中に、名詞目的語が表す人や事物が変化しない、人や事物の外形、位置、数量、存在形式、事物の性質等に変化を起こさせないいくつかの動詞があり、これらを非変賓動詞と称する。次の三個の動詞を比較してみよう。

「挑選」（選択する）という動詞は、いくらかの人や事物の中から要求に適うものを探し出すことを表すが、その名詞目的語は人を表す名詞でも事物を表す名詞でもよい。

例 4、孔子はあれらの学問の素養が比較的に高い人の中から人材を選択すると主張し、それで「学びて優なれば則ち仕う」といった。

例 5、この広西師範大学から来た学生はダンス教程に関するCD-ROMを選択しているところだ。

「熟悉」(熟知する)はよく知っていることを表し、その名詞目的語は人を表す名詞でも代名詞(相手、子供、彼、彼女など)でも、場所(アルバ特街、安徽省、北京、試合場、グラウンド、地方、市場、環境、地形など)や仕事に関する名詞(仕事、業務、農業など)、知識(知識、技術、言語、経済、歴史など)や法律法規に関する名詞(法律、国際慣例、規準、理論、原理、憲法、政策、規則など)、状況を表す名詞(車の性能、市況、罪状、国情け、道路状況など)、事物(パソコン、本、教材など)、文化風俗習慣(民族の風土人情、伝統、文化など)を表す名詞でもよい。

例6、彼は地質調査隊の苦しい生活を熟知している。

例7、物証に基づき判断すると、犯罪を行った人は非常に現地の状況を熟知しており、現地の住民のはずだ。

「具有」(持つ)という動詞の名詞目的語は、意義を表す名詞(重要な意味、歴史的意義、里程標の意義、影響、価値、作用、含意など)でも、能力を表す名詞(天賦、実力、能力、潜在力、競争力、効き目、効果、効能、用途など)、性質や特質を表す名詞(魅力、生命力、吸引力、活力、性質、伝染性、創造性、磁気、代表的、弾力性、実現性、薬物耐性、普遍的、欺瞞的、特徴的、特色、生活力、郷土色など)、人の精神やイメージに類する名詞(精神、品性、イメージ、地位、名誉名声など)、抽象的な事物を表す名詞(歴史、伝統、教養レベル、学歴、学位、権利、知的財産権、見込み、内容、基準、未来図など)でよい。

例9、中阿会社は中国がクウェート、チュニジア共和国と共同出資して建設したもので、その生産技術は90年代の国際先進的な水準を持っている。

例10、我々中華民族は昔から愛国主義の輝かしい伝統を持っている

以上の組み合わせの実例から次のことが見て取れる。「挑選」(選択する)は名詞目的語の位置を変えた。この種の位置の変化は具体的にでも抽象的にでもよいのだが、それらにより名詞目的語は動作主体の外から動作主体自身に移ったのである。これとは逆に「熟悉」(熟知する)と「具有」(持つ)は名詞目的語と組み合わせられても、名詞目的語が表す人や事物に何の影響も起こさないのである。

非変賓動詞は名詞目的語に影響しない、従って名詞目的語とは施受関係ではない。北京大学現代漢語言言語データベース(以下CCLデータベースと称す)の変賓動詞と名詞目的語の組み合わせ言語資料の分析を通して次のことが分かった。非変賓動詞は主に行為動詞で、人や人の心理活動と客観的な外界に対する描写である。中国語の二音節動詞の中で、非変賓動詞は心理反応動詞と客観描写動詞の二大分類を含んでいる。

## 二、変賓動詞の人の類を表す名詞目的語に対する影響

《大綱》の1307個の名賓動詞の中に、112個有る動詞の名詞目的語は人を表す名詞、代名詞或は人に関係する抽象名詞である。この112個の変賓動詞は人の心理情緒、人と外界との関係及び生存状態等に対して大なり小なり、積極的或は消極的な影響を生じ、目的語の人の情緒や状態外界との関係などに多かれ少なかれ変化を起こさせる。

### 1、動詞が影響する人の表に出ない情感

《大綱》の中の幾つかの二音節名賓動詞の動作の発生者は、動作を通じて人の情感を生みだし、人の情感に変化を起こさせるが、人に積極的に影響するものと消極的に影響するものがある。

#### (1) 動詞が人の情感に対して積極的な影響を生ずる場合

「表彰する」、「顕彰する」、「称賛する」、「賛美する」、「称揚する」、「おだ

てる」、「へつらう」、「お世辞を言う」、「おめでとう（祝福する）」、「激励する」、「鞭撻する」、「ありがとう」、「報いる」、「感化する」、「世話をする」、「感動する」、「奮起する」、「鼓舞する」。これらの語の名詞目的語はすべて人を表す名詞、或は人の品性や特徴を表す名詞であり、これらの動詞が動作として対象となる人に関係するとすべて楽しく奮い立つ気持ちが生ずる。

例11、羅長奇は学習態度がきちんとしていて成績優秀な学生を表彰した。

例12、団中央等の部門は共同して全国ベストテンの少年先鋒隊員を顕彰した。

例13、この潜在能力、その一つが他人を称賛し、他人を激励する。

例14、母親が彼を可愛がり始めたのは、彼が自分の息子を賛美したので、少し彼にお礼したくなったからだ。

例15、葉正大は銭学森ら一世代上の科学者が祖国の恩に報いるために努力した崇高な精神境地を高く称揚した。

例16、戴笠はいやらしいほど胡蝶をおだて、「君はわが心の最も尊敬する女神のようだ」といった。

例17、今や人気が出でよい運氣になった、幸運が巡ってきた、みんな蜂の巣をつついたように彼におべつかを使いに行き、欠点でさえも長所のように書き立てた。

例18、陸小鳳はため息をついて言った、「宮さん、私はおせじを言っているのではない、あなたは本当に私が想像しているよりずっと聡明です」。

以上の例文の行為動作動詞の「表彰する」、「顕彰する」、「称賛する」、「賛美する」、「称揚する」、「おだてる」、「お世辞を言う」などはすべてそれらと関係のある人の心理に一定程度の変化をもたらした。人は表彰されれば表に出なくても心の中には必ずなんらかの変化が生じ、楽しくなったり気持ちが奮い立ったりしているはずである。

この種の動詞の中で、「感動する」、「奮起する」、「鼓舞する」等の語はそ

の語と動作発生者の存在は異なる。「表彰する」「称賛する」の語の動作発生者は人であるが、「感動する」、「奮起する」、「鼓舞する」等の語の動作発生者は人を表す名詞ではなくて、人の性格品性或は人に関する事柄を表す名詞である。

例19、鍾詠三の粘り強さと誠実さはこの実業家を深く感動させた。

例20、ここ三年ほど、北京のオリンピック開催申請は北京市民と全国人民の愛国主義精神を極めて大きく呼び起こし、民族の誇りと自信を奮い立たせた。

例21、この番組は成功だ、こんなにも大きな場面、雄大な迫力は本当に人の心を鼓舞する。

例22、この哀れな運命の人の物語は川辺の町の一人の平凡なりスナーの心を打った。

以上の例文の「粘り強さと誠実さ」は人の性格行為に関する名詞である。「北京のオリンピック開催申請」「場面」「迫力」「物語」は事柄を表す名詞である。

## (2) 動詞が人の情感に対して消極的な影響を生ずる場合

「もてあそぶ」「嘲り笑う」「叱責する」「皮肉をいう」「いやがらせをいう」「悪口を言う」「怒らせる」「無罪の罪を着せる」「笑いものにする」「けなす」「(名指しで) 非難する」「反駁する」「厳しく非難する」「意地悪する」「脅す」「陥れる」「誹謗する」「(悪意を持って) 非難する」「ばかにする」「だます」「(期待に) 背く」「嫌な思いをさせる」「しかる」

以上の動詞の名詞目的語も人を表す名詞であるが、これらの動詞は動作が及ぶ人に対して苦しみ、憤怒、気落ちといった消極的な情緒を生じさせる。

- 例23、私は心底日ごとに彼女を憎むようになった、彼女が私の気持ちを弄んだからで、私にひどい苦痛をあたえ、私は身も心も大きく傷ついた。
- 例24、私たちが北京に来ると多くの人が私たちを軽蔑し嘲り笑った。夜、私たちは酒を飲み、喧嘩をして、むかむかするだけだった。
- 例25、今、一部の小学校の教師は学生を教育する中で、いつも学生を叱責し、皮肉やいやみを言い、野卑な言葉や汚ない言葉まで発して、学生の自尊心を傷つけている。
- 例26、私は全身の血が一気に顔にのぼる気がした、すっと立ちあがり、カッとして「君は私を中傷したな、私が君の思っているようなあの手の人間であるものか」といった。
- 例27、唐龍よ、気をつけろ、無冠の帝王を怒らせると、君の食べる美味しい果実は無いぞ。
- 例28、家族も先生も私を無実の罪にした、私はひどく苦しく、死にたい。

例23は、私は（気持ちを）弄ばれた後、身も心も大きく傷ついた。例24は、名詞目的語の私たちは嘲笑を受けた後、酒を飲み、喧嘩をして、むかむかするだけであり、明らかに心にわりと大きな影響を受けている。例25は、学生は叱責、いやみ、皮肉を受けた後自尊心に傷を受けている。例26は、名詞目的語の私は中傷された後、カッとして全身の血が一気に顔にのぼった。例27は、無冠の帝王は怒らされると、かならず心中に憎しみが生ずる。例28は、名詞目的語の私は無実の罪を着せられた後、気持ちが落ち込み、ひどく苦しく、死にたい、とさえなっている。

### （3）動詞が人の情感に変化を生じさせる場合

いくつかの動詞は人の情感に、平穏安定した状態から不穏不安定な状態に或はその逆という変化だけを生じさせる。



例29、各レベルの人民政府は、断固とした措置をとり失業者や農民をすぐに適切な部署に配属させ、人心を安定させ社会を落ち着かせた。

例30、私は直ちに何かの力を得た気がして、気持ちが落ち着き、ついにこわごとと演壇にあがった。

例31、1912年4月、タイタニック号の巨大な船体が沈没したニュースは大西洋兩岸の人々を驚愕させた。

例32、このあたり一帯に有るはっきりと味方を応援する声は許営長にショックを与えた。

以上の例文の中で、「安定」は「人の心」を不安定から安定に変え、「落ち着く」は私の「気持ち」を慌てて取り乱している状態から鎮静へと変え、「驚愕」は人をびっくりさせたのであり、「ショックを与えた」のは「許営長」の気持ちが平穩から平穩でない状態に変わったのである。この中の「安定」、「驚愕」の動作発生者は人を表す名詞ではだめで、人と関係のある事柄の名詞である。

## 2、動詞が人の存在状態に影響する

### (1) 動詞が人の動作状態に影響する

いくつかの人と人との付き合いを表す動詞があるが、その名詞目的語は実際相手の人である。文の構造からみると、この種類の動詞が述語になる文の目的語はただ人を表すだけの名詞であり、動詞の名詞目的語に対する影響は字面の上からは見いだせず、語義の角度から分析する必要がある。語義の角度から始めて、我々の生活実践の経験に結合すると、これらの名詞目的語は動作発生者と交際する過程で必ず相呼応する動作をして動作発生者に答えていると思われる。例えば次の例文「私はわざわざこの劇団の責任者を訪問して、夢の中の故郷についてお話し下さいとお願いした」の中の、劇団の責任

者は「私」と会っている時、出迎える、話をするなどの動作をしているはずである。例文「陳毅はよく家で宴席を設けて華東の省や市の第一書記など主要な責任者を宴会に招いた」の中の、陳毅に宴会に招かれた主要な責任者は相呼応する反応、例えば食堂に行く、食事をする、話をするなどをしていないはずである。この種類の動詞には次の語も含まれる。「訪ねる」「宴会に招く」「招待する」「見舞う」「あいさつする」「(目上の人に)贈りものをする」「出迎える」「教えを請う」「問う」「回答する」「抱き合う」など。

例33、それぞれが遠く離れているが、誰もが魯南の村人を忘れられず、彼らは様々な機会を利用して昔の大家を訪問しに帰り、戦った所を見たりしている。

例34、お昼に、彼は半月分の給料を取り出してはるばるやって来た二人の村の幹部を家に招待した。

例35、安徽省の各レベルの労働組合組織は省委委員会の指導の下、積極的に行政部門と歩調を合わせ、いろいろと資金調達をして極貧の労働者を見舞う。

例36、(軍委員会の指導者は)心をこめて張華烈士の母親潘英花にあいさつした。

例37、私たち兄弟は時おり、山の物、さつまいもの類のような物を持って或は乾いた柴を担いで、あのお方に贈り物をしに行きます。

例38、私たちの学院は私が親族に会うために家に帰ることを許可した、汽車が北京に着いた時、家族全員が駅で私を出迎えた。

(2) 動詞が人の生活生存状態に影響する。

① 動詞は名詞目的語と主語の関係に影響する或は変化をおこす

「団結する」「雇用する」「おもねる」「抜け出す」「別れを告げる」「結託する」「誘惑する」「魅惑する」等の動詞は、動作発生者と動作が及ぶ対象と

の関係に変化を起こさせる。この中の「団結する」「雇用する」「おもねる」「結託する」「誘惑する」「魅惑する」は、もともと無関係だった二人の人を結びつけて一緒にする。「抜け出す」「別れを告げる」はもともと一緒に結びついていた人を分離させる。

例39、彼らは剽窃したり、意に沿う文章を作ったりして権力におもねる。

例40、彼はそのうえ中国青年科学技術員協会を直接指導する仕事をし、努力して多くの科学技術員を団結させ、国家のために人材を造り蓄えた。

例41、去年彼は自分の貯蓄4万円で、官職を辞め、十台の電子ゲーム機を買って帰り、3名の人を雇用して、児童ゲーム館を経営し始めた。

例42、混乱の中で、荀灌はまた勇士たちを率いてめざましい勢いで、鬱蒼とした山林に突進し、追撃部隊から抜け出した。

例43、1990年に小鵬は妻の紫非と連れ立って親戚や友達に別れを告げて、彼の故郷の福建省漳州に移居した。

以上の例文から次のことが見て取れる。「おもねる」「団結する」は、動作発生者と名詞目的語の関係を疎遠から親密に変化させる。「雇用する」は互いに知らない動作発生者と名詞目的語を雇用関係に変化させた。「抜け出す」と「別れを告げる」は動作発生者と名詞目的語を分離させる。

## ② 動詞は人の生活状態に影響する

瞻養（扶養する）、侍候（世話をする）、伺候（仕える）、照顧<sub>2</sub>（面倒を見る）、照料（世話をする）、関照（世話をする）、養育（育てる）、撫養（扶養する）、撫育（愛情を込めて育てる）、援助（援助する）、資助（経済的に援助する）、帮助（助ける）、引導<sub>2</sub>（導く）、懲罰（こらしめる）、糟蹋（侮辱する）、保護（守る）、傷害（傷つける）、孤立（孤立させる）、報復（仕返しする）、迫害（迫害する）、排擠（のけ者にする）、包庇（かばう）、困擾

(困らせる)、陷害(計略にかける)、指導(みちびく)、誘導(教え導く)などはすべて動作発生者が動作を通じて名詞目的語の日常生活の状態に影響を受けさせることを表している。

例44、湯天池は、もとは江蘇省の者だが、避難して蕪湖に来て、かじ屋になり高齢の母親を扶養している。

例45、嚴寒酷暑であろうとも周汝珍はいつも心を込めて老人に仕え、これまで恨み事をいったことがない。

例46、彼女は多病の祖母としゅうとの世話をし、また両目が失明した義弟と学校に上がった双子の小じゅうとの面倒もみている。

例47、ご飯を炊きおかずを作る速度をすこし速めたら、子供の世話をする時間を少しとれて、彼が成長して大人になったのに、あなたが躰をするのに間に合わなかったという事態から免れられる。

例48、一人のありふれた農村の女性が不幸なことに夫を亡くした後、大変な苦勞をしながら五人の子供を育て、彼らを相次いで大学に進学させている。

例49、周恩来総理と頼穎超同志には子供がいない、しかし相次いで数十人の烈士の孤児を扶養し、貴重な父母の愛で彼らを育て、彼らをすくすくと成長させたのである。

例50、李元福夫婦は毎日心をこめて老人の世話をし、また二人の子供を愛情こめて育てている。

例51、孫麗麗の家庭の事情はかなり困窮している、それでは彼女はどのように身寄りのない老人を経済的に援助したらよいのか？

例52、省政府が民政救済金を割り当てる以外に、省財政、省労働組合がいくらかのお金を持ちだして貧窮労働者と農民に援助する。

以上の例文の中で、動作発生者は動詞を通じて動詞の目的語に対して援助

や世話をしており、その名詞目的語の多くは世話を必要とする老人や子供、体の弱い病みがちの者を表す名詞である。さらに次の例をみよう。

例53、林彪は国防部長を引き継いだ後、海軍や陸軍で腹心の部下を育成して勢力を築きあげ、物事の成行きに従わない幹部を攻撃し計略にかけた。

例54、邱会の犯した主な罪は林彪が林王朝を建てる手伝いをしたことで、多くの党と国家の指導者さらに人民大衆を攻撃し迫害した、これはとても許せない犯罪行為である。

例55、法治国家に在って犯罪人を横行させてはならない、きっと必ずテロ分子を懲罰せねばならない。

「隔離する2」、「補習する」、「(人材を)養成する」、「(幹部や技術者を)訓練し養成する」、「動員する」、「(人や動物を)拘束する」、「指揮する」、「訓練する」、「募集する」、「訴え出る」、「起訴する」、「罰する」、「処分する」、「懲らしめる」、「処罰する」、「(退職或は免職した官吏を)再任用する」、「(新人を)抜擢し起用する」、「(重要な任務につけるため)抜擢する」、「合格採用する」、「採用する」、「任用する」、「任免する」、「打ち勝つ」、「淘汰する」、「攻撃する」等の動詞は、かなり強い職種の特徴があり、名詞目的語の社会生活の状態に影響する。それらの名詞目的語の多くは特定の身分を持つ関係者である。

例56、国際アマチュア陸上競技連盟は又ドーピングで五名の選手を罰した。

例57、市当局は発見した後、賭博をした公安部門の幹部と警察官を処罰しただけでなく、犯罪を知らずながら通報しなかった二名の課長クラスの幹部と警察官も処分した。

例58、この二年間に石炭大学院は七名を、処長や所長クラス以上の青年幹部に抜擢した。

例59、楊影はきき手を活かして真っ先に攻撃して優位に立ち、香港の陳丹蕾選手を次々と失点させ、三対一で相手を淘汰し、ベストフォーに入った。

例60、中国人選手の章鍾と諸宸は今日も又別々に男子と女子の一号台に座ったが、二人揃って相手に打ち勝った。

「罰する」「処罰する」「処分する」の名詞目的語はすべ過ちを犯した仕事関係者であり、「抜擢する」は名詞目的語を普通の職員から幹部に変え、「打ち勝つ」と「淘汰する」は名詞目的語を失敗者に変えた。この種類の語の中で困擾（困らせる）の動作発生者は人を表す名詞ではだめで、人と関係する事柄の名詞である。例えば次の例をみると、

例61、80年代、三系法は水稻を交配した優良品種を実用化したが生産量が低すぎた、これは国際的な難題で、多くの水稻科学研究者を困らせた。

例62、リストラされた労働者の就職問題は、多方面に関連し、社会的な影響も大きく、多くの町の指導者を困らせた。

### （3）動詞が人の存在状態に影響する。

所謂「存在状態」には別に「生活状態」があるが、これは名詞目的語が個体存在の時に出現する特徴を指す。具体的には人を表す名詞、その存在状態の主に生命、自由と関係する状態に到ることを指す。「出産する」、「(危険状態から) 救う」、「応急手当ををする」、「虐殺する」、「(不正な目的で) 殺害する」、「捕虜にする」「逮捕する」、「釈放する」等の動詞は直接名詞目的語の存在状態に影響し、名詞目的語に対する影響の強さは極めて大きい。

例63、私は四人の子供を産んだが、さらにもう少しで女の子を養女にとるところだった。

- 例64、正にこのようなよい伝統、気風のなかで、清華大学は多くの工事技術者を養成するだけでなく、優秀なスポーツ選手も育てている。
- 例65、彼らは武漢市の大病院をあちこち走りまわって、幼い娘を（危険状態から）救う代価は一切惜しまないと決めた。
- 例66、この嵐の夜、彼は理由もなく斧で一人の女医を殺害し、稲妻殺し屋とサインした一枚のメモを残した。
- 例84、第二次世界大戦のときに、ドイツのファシズム政権はここで人間性を喪失して100万人余りの無辜の人を虐殺したが、その90パーセントはユダヤ人であった。
- 例85、そこで彼らは12月12日断固として西安事件を発動し、蒋介石を逮捕した。
- 例86、政府軍は約300名のタリバン学生軍を捕虜にし、大量の武器弾薬を鹵獲した。
- 例87、全国人民の圧力のもと、北洋軍閥政府は逮捕された学生を迫られて釈放した。

以上の例から次のことが見て取れる。動詞「出産する」は、名詞目的語の「子供」を「無」から「有る」状態に変化させることを実現したが、「救う」は動作発生者が動作することを通じて名詞目的語の「娘」を命が危険な状態から脱出させる。「虐殺する」、「殺害する」は、名詞目的語を命が有る状態から無い状態に変化させる。動詞「捕虜にする」「逮捕する」は名詞目的語を自由な状態から動作発生者の規制を受ける自由でない状態に変化させるが、「釈放する」は名詞目的語を動作発生者の規制を受ける自由でない状態から自由な状態に変化させる。

### 三、 変賓動詞と人を表す名詞との動詞名詞の組み合わせ

CCL 言語データベースを利用して先の文中で取り上げた 122 個の変賓動

詞と名詞目的語との組み合わせについて、組み合わせの状況を考察した結果、人に影響を与える変賓動詞と人を表す名詞の動詞名詞の組み合わせの関係には、以下の幾つかの特徴があることが分った。

1、人に影響するほとんどの変賓動詞は、その目的語となる人又は人の性格、情緒、心理品性等を表す名詞との組み合わせ関係が比較的散漫である。

2、いくつかの動詞は名詞目的語との組み合わせ関係が極めて緊密で、CCL言語データベースの中には多くの高頻度で出現する組み合わせがあり、すでにかなり固定的な組み合わせ語の塊を形成している。例えば、「孝敬2（目上の人に贈りものをする）」は、変賓動詞としての190条の言語材料の中で、目的語が「父母」が46条、「老人」が22条、「夫の父母」が7条である。「瞻養（扶養する）」は、変賓動詞としての76条の言語材料の中で、その目的語が「老人」が30条、「父母」が11条である。「養育（育てる）」は全部で260条の言語材料で、その目的語が「子供」が33条、「子女」が9条、「息子と娘」が8条である。「撫養（扶養する）」は257条の言語材料で、その目的語が「子供」が84条、「孤児」が25条、「子女」が22条である。「撫育（愛情を込めて育てる）」は81条の言語材料で、その目的語が「子供」が15条、「子女」が6条である。「生育（出産する）」57条の言語材料で、その目的語が「子供」が16条、「子女」が13条である。「招待する」は553条の言語材料で、その目的語が「客人」が106条、「朋友」が24条である。「任免する」は106条の言語材料で、その目的語が「駐外大使」が44条、「国家工作人員」が25条、「幹部」が5条である。

3、いくつかの動詞は名詞目的語を意味の面で制限する。例えば「捕虜にする」の語義は目的語が敵軍であることを明確に指している。「訴え出る」の名詞目的語は服務に問題がある公職に就いている人であり、「処分する」の名詞目的語は規律違反を犯した人であり、「打ち勝つ」と「淘汰する」の名詞目的語は「敵」「相手」など動作発生者と敵対関係や競争関係がある人で、「慰問する（見舞う）」「あいさつする」の名詞目的語の多くは、生活困難者或は災禍に遭遇した一般の庶民である。「侍候（世話をする）」、「伺候（仕



える)、「照顧2 (面倒を見る)」、「照料 (世話をする)」、「関照 (世話をする)」、「援助 (援助する)」の名詞目的語の多くは、面倒を見てもらう必要がある老人、児童生徒、体が弱く病気がちな人を表す名詞である。「募集する」「採用する」の名詞目的語は「学生」などが試験を通じて申請する学校や地位のある人で、「かくまう」の名詞目的語は、犯罪行為の有る人である。

変賓動詞と人を表す名詞目的語との組み合わせに関心を寄せると同時に、変賓動詞の動作主体とその名詞目的語の意味との関係もまた注目に値する。研究して次のことが分かった、

「感動する」「奮起する」「鼓舞する」「安定する」「落ち着く」「驚愕する」「ショックを受ける」の動作主体が事件事柄である以外、ほかの動詞の動作主体はみな人である。名詞目的語に対する動作主体が人である動詞の中で、いくつかの動詞は動作発生者と動作の受けての間の地位関係を制限する。例えば「表彰する」、「顕彰する」「見舞う」「あいさつする」「雇用する」「育てる」、「扶養する」、「(愛情を込めて) 育てる」、「(経済的に) 援助する」、「導く2」、「(人材を) 養成する」、「(人や動物を) 拘束する」「(幹部や技術者を) 訓練し養成する」、「訓練する」、「指揮する」、「罰する」、「処分する」、「懲らしめる」、「処罰する」、「(退職或は免職した官吏を) 再任用する」「(新人を) 抜擢し起用する」「(重要な任務につけるため) 抜擢する」、「合格採用する」、「採用する」、「任用する」、「任免する」等の動詞の動作発生者は動作の受け手よりも地位が高い。「孝敬2 (目上に物を差し上げる)」「教養を請う」「瞻養 (扶養する)」等の動詞の動作発生者は動作の受け手よりも地位が低い。

概言すれば、人に影響を与える変賓動詞と名詞目的語の組み合わせ情況はわりと簡単で、中国語を第二言語として学習する者にとってはいえば、ここで学ぶべき点は、名詞との組み合わせが緊密な動詞は名詞目的語に対して語義の制限を有する動詞であること、また動作の主体は人ではない動詞だということである。

参考文献 原文参照のこと。